

プラス・ミュージアム・プログラム 2023年度クロージングフェスタ クロージングシンポジウム

Insight on Site

地域とともにあるミュージアムの現場に学ぶ



2024

1/28

(日)

北海道大学学術交流会館 小講堂 ※zoomによるオンライン配信を併用

13:00 ▶ 17:00 クロージングシンポジウム

開会の挨拶

藤田 健 (北海道大学文学研究院長)

基調講演

小川 義和 (立正大学 教授・埼玉県立川の博物館 館長)
「地域においてミュージアムが連携する意義」

パネリスト

尾曲 香織 (北海道博物館学芸員・北海道博物館協会)
志賀 健司 (いしかり砂丘の風資料館・北海道博物館協会 学芸職員部会)
五月女 賢司 (大阪国際大学 准教授)
卓 彦伶 (北海道大学文学研究院 特任准教授)

閉会の挨拶 今村 信隆 (北海道大学文学研究院 准教授)

司会 佐々木 亨 (北海道大学文学研究院 特任教授)

お申し込み (事前のお申し込みが必要です。)

締切 | 2024年1月26日(金) 13:00

方法 | 右のQRコードから申込みフォームにお進みください。

参加料 | 無料

※どなたでもご参加いただけます。



.....
ミュージアムはこれまでも地域に根差した活動を展開してきましたが、これからのミュージアムはより地域課題に向き合い、社会全体に対して働きかけることが求められています。ヒト、モノ、カネ、情報といった経営資源が限られている中、学芸員が中心となる人的ネットワークや共通課題を基盤としたネットワークを通じて、各館・学芸員が個性と専門性を発揮した多様な活動が行われています。2023年度のクロージングシンポジウムでは、社会全体に情報を発信するミュージアムであるための必要な要素や全国のミュージアムにおける連携の現況と課題を俯瞰します。さらに、関西圏および北海道内の小規模ミュージアムの活動に焦点を当て、ミュージアムが地域社会に働き続けるために、地域内外におけるミュージアムのネットワークが果たす役割とゆるやかに持続可能なネットワークのあり方について考えます。

10:00 ▶ 12:00 (詳しくは本プログラムHPをご覧ください。)

- 「なのにあなただは小樽へゆく」
-「訪れる」だけじゃない! 「小樽芸術村」と小樽観光との関係を可視化する-
- ミュージアムはまちの常備薬
-なにかと大変な世の中をちょっとだけ楽に、
あるいは楽しくしてくれる(かもしれない)、ミュージアムというお薬の話-

お問い合わせ先

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
北海道大学文学研究院内
「プラス・ミュージアム・プログラム」事務局
メール | plusm@let.hokudai.ac.jp
TEL | 011-706-3017・011-706-4053